

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
医学概論 (人体の構造と機能及び疾病)		必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
稲場 直子 他	C303	naoko.inaba	水曜日 13:00~15:00 Teams 受付を原則とする		
授業の目的・概要	<p>本科目の目的は、専門分野を学習する前に、心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解すること、国際生活機能分類 (ICF) の基本的考え方とその概要およびリハビリテーションの概要について理解することである。 教科書に基づき、オムニバス形式でそれぞれの分野の専門教員が授業を行う。</p>				
学習上の助言	<p>複数の教員がそれぞれの専門分野の講義を担当するので、授業についての疑問点などは Teams チャット機能などを用いて担当教員に直接確認することが望ましい。</p>				
教科書	<p>最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 1 医学概論 /編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規</p>				
参考書	<p>特に指定しない</p>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	身体と精神の成長・発達、老化の概要を説明できる。			HSU(1)、(3)、WP(1)、(3)、(5)	
②	人体部位ならびに器官の名称と機能を説明できる。			HSU(1)、(3)、WP(1)、(3)、(5)	
③	リハビリテーションの概念と範囲を説明できる			HSU(1)、(3)、WP(1)、(3)、(5)	
④	健康の概念を説明できる。			HSU(1)、(3)、WP(1)、(3)、(5)	
⑤	生活機能を低下させる疾病や障害についてその概要を説明できる。			HSU(1)、(3)、WP(1)、(3)、(5)	
⑥	国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要を説明できる。			HSU(1)、(3)、WP(1)、(3)、(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション・総論 [担当: 稲場]	講義	学習内容の確認・復習	2	
2	第 1 章 ライフステージにおける心身の変化と健康課題 について学ぶ [担当: 稲場]	講義	学習内容の確認・復習	4	
3	第 2 章 健康および疾病の捉え方 について学ぶ [担当: 稲場]	講義	学習内容の確認・復習	4	
4	第 3 章 身体構造と心身機能 について学ぶ [担当: 小川]	講義	学習内容の確認・復習	4	
5	第 4 章 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程 について学ぶ [担当: 小川]	講義	学習内容の確認・復習	4	
6	第 5 章 リハビリテーションの概要と範囲 について学ぶ [担当: 小川]	講義	学習内容の確認・復習	4	
7	第 6 章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション (1) 感染症、悪性腫瘍 (総論) について学ぶ [担当: 成]	講義	学習内容の確認・復習	4	
8	第 6 章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション (2) 中枢神経系の概要、高次脳機能障害、認知症、神経難病、脳機能性疾患について学ぶ [担当: 成]	講義	学習内容の確認・復習	4	
9	第 6 章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション (3) 脳血管障害、心疾患について学ぶ [担当: 成]	講義	学習内容の確認・復習	4	
10	第 6 章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション (4) 内分泌・代謝障害 (糖尿病) について学ぶ [担当: 成]	講義	学習内容の確認・復習	4	
11	第 6 章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション (5) 呼吸器疾患、腎・泌尿器疾患について学ぶ [担当: 成]	講義	学習内容の確認・復習	4	
12	第 6 章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション (6) 血液疾患、免疫・アレルギー疾患について学ぶ [担当: 成]	講義	学習内容の確認・復習	4	
13	第 6 章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション (7) 精神疾患、精神障害、発達障害、主な先天性疾患について学ぶ [担当: 成]	講義	学習内容の確認・復習	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

14	第7章 公衆衛生 について学ぶ [担当：稲場]	講義	学習内容の確認・復習	4					
15	これまでの学習の総括 [担当：稲場]	講義	学習内容の確認・復習	6					
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		100	0	0	0	0	100		
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100		
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	教科書と授業内で配布した資料の内容の理解度を問う。				期末テストの添削・返却		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥	✓							
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
備 考									
<p>本科目は登校による面接授業を予定している。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業への参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される可能性がある。やむを得ず Teams を使った同時双方向型授業となる場合は、通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</p> <p>担当教員：◎稲場 直子、成 昌燮、小川 麻里子</p> <p>実践的授業の内容：本科目では、健康や国際生活機能分類の考え方、人体の構造、機能、疾病について、それぞれの分野の専門家によってオムニバス形式で授業が行われる。</p>									